

## 歯学部でキャリアパスに関する講義を行いました

日時：令和5年11月13日（月）3、4限目

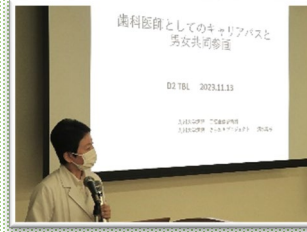
対象：歯学部2年生 53名

講師：九州大学病院口腔画像診断科 講師

きらめきプロジェクト副プログラム責任者  
清水 真弓先生

歯学部2年生を対象に、きらめきプロジェクト副プログラム責任者(歯科部門統括)である清水 真弓先生が、「歯科医師としてのキャリアパスと男女共同参画」をテーマに講義を行いました。

講義を聞いた上で、学生たちはグループに分かれて、自分たちの未来の生活について活発な討論を行いました。



### ～今回の講義を通じて：学生たちの感想～（抜粋）

- ・ 歯科医師という職業には様々な働き方の選択肢があり、簡単に諦めなくていいということを覚えておきたいと強く感じた。
- ・ “結婚育児をとるか、キャリアを取るか” どちらかを諦めるのではなくどうやったら両立できるかを考えていきたいと思った。
- ・ 自分のキャリアのために必死で勉学に励み歯科のプロフェッショナルになれるように頑張りたいと思います。
- ・ 同級生のみながどんな未来を描いているかを知って、いろんな人の価値観があって面白く、こんな生き方もあるのかと学ぶことができました。
- ・ 周りに流されたり、強い意志もなく選んだりせず、今のうちから自分にとってどのようなキャリアライフが理想なのか考えていきたいと思う。
- ・ 職場の女性だけでなく職場の男性の人にも働きやすい環境を作れるように意識して生活したいと思いました。

### ❀ イベント開催のお知らせ ❀

#### 令和5年度スタッフ発表会を開催します

日時：令和6年3月6日(水)～8日(金) ※7、8日はポスター掲示のみ

会場：病院外来診療棟 2階ギャラリー

きらめきプロジェクト所属のドクターたちが各々の紹介や1年間の活動をまとめたポスターを会場内に掲示します。期間中はどなたでもお立ち寄りいただけます。ドクターたちの奮闘ぶりを是非ご覧ください。



九州大学病院 臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/



# きらめき通信 vol.78

年頭のご挨拶を申し上げます。

コロナ禍や世界各地での紛争が続き、2024年こそは平穏な年でありますように、と祈って迎えた新年でしたが、元旦の能登半島地震、その翌日には羽田空港の航空機衝突事故と心痛むことが続いております。この度の災害にて亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに被災者の皆様には心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。現地で救助、治療、復旧作業などに尽力されている皆様のご苦勞もいかにばかりかと拝察申し上げますとともに、安全に留意されているご活躍をお祈り申し上げます。

私は保健学部門看護学分野の宮田潤子と申します。小児医療や漢方医学等の学生教育ならびに医学と看護学の双方の視点から考える研究に取り組むとともに、病院では小児外科（特に総排泄腔遺残・総排泄腔外反症）と小児漢方の診療に従事しております。

きらめきプロジェクトでは副プログラム責任者の任を拝命し久留米大学等の先生方と医師のワークモチベーションに関する研究を行っています。本研究のアンケート調査の際には、九州大学病院および関連施設の先生方に多くのご協力を賜りまして誠にありがとうございました。研究成果は間もなく発表されるかと思いますが、医師が、様々な環境で種々のライフイベントを経験しながら、いかに医師としてのワークモチベーションを維持し続けるのか、あるいはそのためにはどうすればよいのか、大変興味深い問題で、引き続き研究に関わらせていただく所存です。

かく言う私自身、現在、小学生の子どもが二人おりますが、ワークモチベーションを高く維持し続けてこられたほうではございません。高齢での第一子出産後からはほぼワンオペでのマイペースな子どもたちの子育てと仕事の両立を模索してきました。何度も「もう無理だ」と思い詰めたことが、その時々において、医局の先生方に支えていただきました。少しずつ恩返しをしなければ、という思いと、臨床・研究ともに進取向上の姿勢で取り組む周囲の同僚の姿が私自身のワークモチベーションに繋がっていると感じます。きらめきプロジェクトに所属する医師の多くは家庭と仕事の制限があるなかで、ワークモチベーションは高く、非常に前向きで、こちらが刺激をいただいています。生活背景が似た環境にある者として、気軽にご相談いただくなど、何かのお役に立てる機会がありましたら幸いです。



## 日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

卒後14年目の泌尿器科医です。家族構成は夫（内科医）と小学生の息子二人の4人家族です。きらめきプロジェクトには今年度からお世話になっています。勤務は週に2回、外来業務を行っております。卒後6年目のときに大学院進学し、排尿分野の研究を行いました。そのため、大学では排尿外来を担当しております。大学病院の外来では普段あまり経験することのできない症例を経験することができるため、日々学ばせていただきながら過ごしております。

生活面では、息子たちが保育園時代もバタバタと慌ただしい毎日でしたが、小学校に入学した現在も毎日の生活は同じように慌ただしいです。息子たちも自分のことはある程度自分でできる年にはなりましたが、まだまだ見守りが必要な時期だと感じています。我が家の場合はとくに精神面でのケアが必要だと感じる事が多々あります。そのため、仕事も継続しながら子どもにも時間をかけられるこの働き方は非常にありがたく感じております。

今後の展望としましては、泌尿器科医はまだまだ女性医師が少ないため、女性患者からのニーズを感じることもあり、それに応えられる医師に成長していきたいです。一度は仕事を辞めようかと思ったこともありますが、このような環境を与えていただいたことに感謝しています。これからも自分にできることは自信をもって、そして日々成長していきたいと思っております。

卒後19年目の歯科医師です。夫と子供2人(中学生の息子、小学生の娘)の4人家族です。2年の研修終了後、出産と子育てのため、長い間歯科から離れておりました。子育てとの両立に不安を感じ、なかなか仕事復帰に踏み切れませんでした。しかしながら、きらめきプロジェクトのことを知人に教えてもらい、これなら子育てと両立できるかもしれないと考え、応募を検討していました。

臨床の経験が少なかったため、昨年度は高齢者歯科・全身管理歯科に医員として1年間所属し、学ばせていただきました。今年度からきらめきプロジェクトに参加させていただいております。

現在は、週に2日大学病院に勤務し、歯科診療を行っております。また、週に1日施設を訪問し、口腔ケアや歯科診療を行っております。昨年度よりも大学病院での勤務日数、勤務時間は減りましたが、引き続き多くの経験を積ませていただいております。

家庭においては、子供と向き合う時間も増え、習い事の練習に付き合ったり、ゆっくり話をする時間もできました。家事に費やせる時間も増えて、充実した毎日を送っております。このような環境を与えてくださっている医局の先生方やきらめきプロジェクトの皆様、家族には大変感謝しております。今後も、日々自己研鑽に努めて参ります。

